



樹妙だより

No.179 2020/1



飛行機内からの富士山



明照学園 理事長
樹徳中学校・高等学校長
野口秀樹

新年開けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また学園に格別のご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

今年の干支は子(ネズミ)。この年は植物にたとえると新しい生命が種子の中にきざし始める時期で、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。大いに意欲を持ってスタートしてまいりましょう。お寺の世界には有名な和尚さんの話がいくつもありますがその中の一つです。

厳しい修行を見事にやり遂げてきた和尚さんが、年をとり半寝たきり状態になってしまった。

読経や寺の掃除など弟子に任せることに

なったので、時間ができた和尚さんは、文字が書かれたカードをしきりに音読し始めたのです。

不審に思った弟子が「それは何ですか」と尋ねると、和尚さんは最高の笑顔で「英単語の暗記カードだ」と言うのです。

80歳を超えている和尚さん、回復する見込みはありません。弟子は師匠に対して失礼と思いましたが、敢えて英単語を覚えても何の役にも立ちません。無意味ですとつたえしました。和尚さんは怒ることもなく、昔から英語がぺらぺらになりたいという夢があったこと、そして自分の先は短い、今度生まれ変わったとき少しでも楽に覚えられるように、今のうちに勉強していると笑顔で話してくれました。

それを聞いた弟子はその前向きさに感銘を受け、それから暗記のお手伝いをするようになったそうです。

楽しい夢を持っている人、楽しい目的を持っている人は、時間の使い方が違うのであります。

今年も時間を大切に！



樹徳高等学校 副校長
野村 聡

新年あけましておめでとうございます。よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中はご厚情を賜り、ありがとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

新年を迎え、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで、いよいよ7カ月となりました。

はじめに、56年前の1964年（昭和39年）の東京オリンピックを回想させていただくと、私は小学校の2年生でした。10月10日の開会式は、前日の雨も上がり、抜けるような秋晴れの下、史上最多の94カ国、7,060名の選手団が色鮮やかなユニフォーム姿で入場行進するのを、近所の家で当時まだ珍しかったカラーテレビに感心しながら見ていました。様々なことを思い出しますが、体操競技では男子個人総合で優勝した遠藤幸男選手の、つま先までピンと伸びた美しい白いタイツ姿が目に残っています。競泳競技ではアメリカの18歳の少年が4つの金メダル獲得と3つの世界記録更新という快挙を成し遂げましたが、ドン・ショランダーという名前の響きにインパクトがあり、未だに耳に残っています。彼はきれいな金髪だったようですが、我が家の白黒テレビでは確認ができませんでした。閉会式は開会式同様に整然と始まりましたが、次第に列が乱れだし、日本選手団の旗手を肩車し、国籍に関係なく腕を組んで、会場は大歓声に包まれました。幼かった私は混乱した閉会式に驚くと共に憤慨しました。しかし、大人にとっては、会場の国立競技場は21年前の1943年（昭和18年）10月には神宮外苑競技場と呼ばれ、降りしきる冷たい雨の中「出陣学徒壮行会」が行われた、太平洋戦争の悲惨な歴史を象徴する現場です。そこで、同年齢の若者たちが国の違いを超えて、和気藹々とスポーツの祭典を楽しむ閉会式の情景は、平和のありがたさを実感した瞬間だったのかもしれません。

そろそろ2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会につながる嘶をしたいと思います。私は8年前に勤務していた高崎

の女子高時代に、国際社会で活躍できる女性研究者育成の基盤を作るという文部科学省の研究指定事業（SSH）で、生徒たちを引率してアメリカの大学や研究機関に研修に行ったことがあります。訪問先ではたくさんの研究者や留学生から話を聞きましたが、最も鮮烈な印象が残ったのは遠藤 謙氏でした。彼は当時、数多くのノーベル賞受賞者を輩出する理系の最高峰であるマサチューセッツ工科大学（MIT）でロボット義足の研究をしており、のちに世界で最も歴史のある技術雑誌に、「35歳以下の世界的イノベーター（技術革新者）」の一人に選ばれました。また、世界経済フォーラムで「ヤング・グローバル・リーダー」に選出されました。彼はMITでの講話や宿泊先近くのレストランでの会食の際に、飾らない言葉で熱く語ってくれました。研究の原点には、24歳の若さで骨肉腫によって片足を切断した、バスケットボール部の後輩が発した「自分の足で歩きたい」という願いが叶えられなかった、痛切な経験がありました。この一言を契機に、当時取り組んでいた二足歩行の人間型ロボット研究から最先端の義足開発へと舵を切ったそうです。彼は「技術革新によって世界から“身体障がい者”という言葉はなくしたい。」「障がいは人間にあるのではなく、テクノロジーにある。」と言いきります。確かに、近視の人でも眼鏡やコンタクトという技術・道具を使うと、視力を魅力的に矯正してくれ、彼らのことを“身体障がい者”と呼ぶ人などいません。現在、遠藤氏は2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、義足の選手が健常者の記録を超えるような競技用義足の開発に取り組んでいます。

今大会のビジョンは「スポーツには世界と未来を変える力がある」。基本コンセプトは「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」です。そのうち「多様性と調和」の理念とは、「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩する」ということです。今大会はオリンピックだけでなく、パラリンピック競技大会からも目が離せません。

就職活動

令和となって初めての新年を迎えました。

「一年の計は元旦にあり」この言葉も、今年は一層、深く感じられるかもしれません。生徒諸君、保護者の皆様も、除夜の鐘で、積もりに積もった過去の煩悩を打ち払い、清々しい気持ちで、この特別な一年の始まりを迎えたことでしょう。

生徒たちにとっては、まだ年度の三分の一を残していますが、この残りわずかの期間をどのように過ごすかをしっかりと考え、目標を定めて欲しいものです。特に、三年生には、新たな人生のスタートに向けての、大切な準備期間でもあるのです。

この原稿を書いている12月中旬の時期において、三年生の就職状況は、一般企業（学校紹介）については、ほぼ希望者全員が決定、数名が結果待ち、といった状態です。この号が出る頃には、全員が内定をいただいていることを願うばかりです。

令和元年度の就職活動は、例年通り、7月1日から始まり、9月16日から就職選考（入社試験）が開始されました。求人は、前年度よりも落ち込むだろうとの予測に反し、一時は前年度を上回るペースで求人票が届けられ、我ら就職担当者は、「これは今年もいけるか？」と期待を大きくさせられました。実際、年末の現時点での求人数は、前年度と大差ありません。

しかし、やはり内容は違いました。採用試験で苦杯をなめるケースが続出したのです。

採用試験では、企業は、自社の望む人材を確保するために、総合的な判断で人物を選択しようとします。学科はもちろん、面接、作文、適性検査等、さまざまな種類の試験が実施されます。この組合せは会社ごとにまちまちですが、中でも絶対に外されることのない、最も重視される試験が「面接」です。面接官が直接受験者と会話し、その「人物」を総合評価しますから、その人物を量るためには、欠かせないものなのです。

会社側は、次のような点を考慮して選抜を行うと言われます。

○仕事に対する適性

○意欲、誠実さ。努力を惜しまない人物であるかどうか

○積極性や協調性

○広い見識を持っているか。一般常識を身に付けているかどうか。

○理解力や表現力、判断力

これらのことなどについて、しっかりと意識し、身に付けておくことが大切です。日頃の学習に力を注ぐ。ニュース等から世の中の動き、話題等の把握に努める。また、出欠席は、合否の大きな判定材料です。これも日頃から健康に留意し、欠席遅刻、早退を無くすようにしておくことが大切です。さらに、最近よく耳にする言葉が「コミュニケーション能力」です。協調性と重なる部分が多いのですが、自分の意見もしっかりと主張できることが求められます。しかし、だからといって自己主張ばかりでは、やはりダメなのです。周囲に対する配慮をしつつ、状況を正確に把握し、適確な判断を下せなければなりませんので、なかなか難しいところです。

このように考えてみると、就職活動の時期だからということではなく、普段からの、日常の生活における心構えが必要であることがわかります。来年、再来年を考えている二年生、一年生は、三年になってから就職のための心構えを意識するのでは遅いのです。日頃から、「今の自分には何が足りないか」「不足を補うためにはどんな努力をすればよいのか」を、よく考えて生活して欲しいのです。それこそがいざという時、慌てずに済む秘訣です。学習はもちろん、自分を磨くための努力を、積み重ねてください。

なお、就職先決定については、会社名ではなく、自分が何をしたいか、何が（どのような仕事ができるのかで決めないと、後で後悔することになります。このことも忘れずに。（就職担当）



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」

1月の行事予定

(1) ラタンアート工房「桐生藤芸芸」 主催 野村ナナ子さん

1/16 (木)、1/30 (木)

(2) 七草ゼミナール塾 主催 上野文雄さん

1/21 (火)

修学旅行特集

令和元年11月27日（水）～30日（土）の三泊四日の日程で、修学旅行が実施されました。帰りは飛行機を利用するなど、初の試みもありましたが、天候に恵まれ、良き学生時代の思い出となりました。参加した生徒たちの様子を写真にてご報告いたします。





一貫校中学校だより

◆歌会の試み

『あらたしき年の始めの初春の今日降る雪のいや重(し)け吉事(よごと)』大伴家持
『去年今年(こぞことし)貫く棒の如きもの』高浜虚子

新年、おめでとうございます。

冒頭の短歌と俳句は、新年の挨拶の場でしばしば用いられる、最も有名な一首・一句ではないでしょうか。日本人にとって「短歌」・「俳句」は、日常から特別な時間へとわれわれを導いてくれる不思議な作用があるようです。と言っても、魔法の言葉などではなく、日本の伝統的な文芸の一ジャンルに過ぎません。

さて、話題は日常に戻りますが、大学入試新テストの導入や新学習指導要領に伴って、ここ数年の教育現場には大きな変化が生じております。そんな中で文科省が提唱し、教育現場の指針とすべきものの一つに、「主体的で対話的な深い学び」というフレーズがあります。私たちは日々の授業改善に取り組んでいるところでありますが、「主体的で対話的な深い学び」がこれからの大きな目標の一つとなるでしょう。

私は、中学3年生の古文の授業を週4コマ受け持っているのですが、昨年の3年生イギリス語学研修の間は、授業が無く、3年生の引率教師の代役として、2年生2クラス、2コマずつ受け持つということがありました。そこで試みたのが「歌会(かかい)」です。

「歌会」とは、歌人達のグループが自作の短歌を無記名で出し合い、好みの作品に投票して順位を決め、その後、全員で作品の善し悪しを批評しあい、最後に作者名を明かすというものです。歌人にとっては作歌上達のための貴重な勉強会です。

昨年11月の中旬、1コマ目は新川公園に出て短歌の実作です。ノート持参で、とにかく気づいたこと、感じたことをメモし、指折り数えて5・7・5・7・7に整えていく。その後、教室に戻り、辞書で調べたり、推敲したりして提出する。時間内にできなかった者は翌日の朝に提出することにしました。大部分の生徒が時間内に提出できたのには驚きました。

2コマ目は、提出作品をプリントして配布し、「歌会」の手順によって順位を決めます。この時点では誰が1位なのか、本人しか分かりません。その後、批評会に移ります。予想以上に活発な意見が飛び交いました。ふと、これは「主体的で対話的な」学びの機会になったのかもしれないと思い、ここにご紹介した次第です。

ちなみに、各クラス1位作品を無記名でご紹介します。

『晴れ渡る青空の下 友だちと影で背くらべ心嬉しき』

『見上げると黄色に染まるイチヨウの景 雲一つない空の中で』

(教頭 石原)

◆海外語学研修 in イギリス

11月14日より、第3学年が5泊7日のイギリス語学研修に行ってきました。

ロンドン市内観光、ホームステイ、イギリス現地校生徒との交流、オクスフォード見学等々、日本では決して経験できないことをしてきました。4月から準備を始め、特に現地校での交流会のためにはリハーサルを重ねてきました。生徒たちの現地での交流は積極的で生き生きとしていました。帰国後、日本の良さを口にする生徒、海外にまた行きたいと言う生徒等があり、生徒にとって素晴らしい経験になったでしょう。またこのたび、海外語学研修にあたり、保護者の方々には様々なところでご協力いただきありがとうございました。



◆～自分の限界に挑戦～ マラソン大会

寒空の下、琴平小梅公園にてマラソン大会が行われました。男子4km、女子2km、諦めることなく最後まで走りぬけました。マラソンを通して、身体のみならず精神的な「自分に打ち克つ心」も鍛えてくれたのではないかと思います。マラソンの後は、公園内のごみ拾いを行い、使わせていただいた公園に感謝の気持ちを添えて、公園をあとにしました。

【男子】

1年1位 羽川 拓希
2年1位 城田 汰輝
3年1位 岩田 脩裕

【女子】

1年1位 野口 芽里
2年1位 亀山 涼
3年1位 安井 結和



幼稚園だより

◆「令和2年・3学期のスタート」

穏やかで落ち着いた新年（令和2年）の幕開けとなりました。

明けましておめでとうございます。この1年が皆様にとって、子どもたちにとってよい年となりますようにお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。お正月休みが終わりいよいよ3学期がスタートし、園には子どもたちの元気な姿が戻ってきました。

「父母が頑張ることで喜んで言いたい言葉忘れかねる」

防人の歌より（丈部稲麻呂）。旅立ちのとき父母が私の頭をなで「幸せでいなさい」と、言った言葉が忘れられない。という意味ですが、この歌のように、保護者の気持ちをしっかり受けとめ、子どもたちの幸せのために頑張る1年にしたいと思います。そして、昨年開催されたラグビーワールドカップ日本チームのスローガン「ONE TEAM」が、昨年の流行語大賞になりましたが、子どもたちの幸せと健やかな成長のために、教職員・母の会が「ONE TEAM」となって全力投球していきたいと思っています。ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。



◆「なかよし発表会を終えて」

昨年の12月14日（土）に、樹徳高校「勢至ホール」において、なかよし発表会が開催されました。今年度はひよこ組（2歳児）が新たに加わり、劇遊び「てぶくろ」や歌（リトミック）を発表し、観客を魅了しました。歌（リトミック）の発表中に、舞台の電源のフタを発見して全員が遊びだしてしまうハプニングもありましたが、2歳児らしくて可愛く、温かい大きな拍手で見守っていただきました。すみれ組（満3歳）さんからは歌や劇遊び、オペレッタに合奏等、練習の成果を十分に発揮して、成長した姿とその成果を見ていただきました。特に、最後の発表会となった年長さんは、多くの演目の一つ一つしっかりとこなすなど、年長さんとしての責任を果たし、多くの皆さんに感動を与えてくれたと思います。発表会での経験を通して、子どもたちはま

た一つ大きくなりました。その自信を3学期の園生活に生かしていきたいと思います。クラスが1つ増え、時間が延びてしまいましたが、最後までご声援いただきましたご来賓、保護者やご家族の皆様、関係皆様に感謝とお礼申し上げます。ありがとうございました。

◆「全国大会に参加して」

12月10日（火）に、東京・オークラ東京プレステージタワーにおいて、「第34回全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会」が開催され、母の会下山会長とともに参加しました。安倍首相はじめ、来賓として衆議院・参議院の幼児教育関係議員が多数出席し挨拶されました。幼児教育・保育の無償化等により、その重要性や質の向上、人材育成への期待が述べられ、その責任の重さを実感する大会でもありました。全国から幼稚園・認定こども園関係者1,000名以上が参加する、大きな大会に圧倒されましたが、これからの幼児教育の動向・重要性を認識する貴重な機会となりました。

また、大会終了後の講演会では、川邊健太郎（ヤフーの代表取締役社長・CEO）氏が、「私が考える子どもたちの未来」という演題で講演され、AI時代の5年後・10年後に予想される教育の変化に、途惑うとともに不安がいっぱいになりました。

これからの時代に必要とされる力は、①とことんつきつめる力（興味・感性）②人間と向き合う力（医師・カウンセラー・教師・保育士）③意志決定する人の力である。「こんな未来を創りたい」という強い意志のもと、正解のない問題に対して決断することは人間にしかできない。できる限り多くの挫折と経験とジャッジの回数が大切となる。トラブルやアクシデントはAIで解決できるが、自然災害や不況、サイバーテロなどは人間ならではの「何とかする力」が必要であり、予測（AI）するものから創る（人間）ものへと変化する。

川邊社長は、3歳と1歳の子ども父親としての子育てについて、大好きなことにとことん打ち込むこと（それは変わってもよい）、よい仲間作り（たくさん遊び企み続ける）、好奇心を持ってとにかくまずはやってみること（結果失敗してもよい）と話されました。

AIの最先端をリードする大企業のトップの方のお話は説得力があり、幼稚園における教育の方向性について、示唆をいただいた気がします。

瀬谷 茂



令和2年度一入園児募集一

募集人員 2歳児 10名 満3歳児 10名
3歳児 20名 年中・年長 若干名

◎令和2年度入園・転園について受付中ですが、定員になり次第申込みを締め切らせていただきます。早めの申込みをお願いします。

※見学はいつでもできます。日が決まりましたら御連絡ください。

連絡・問合せ

住所：桐生市広沢町三丁目4475

TEL：0277-53-5571

ホームページ <http://www.jutoku.ed.jp/>



1月(持戒)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	水	元日		
2	木	職員休暇	職員休暇	職員休暇
3	金	職員休暇	職員休暇	職員休暇
4	土			
5	日			
6	月	授業料納入日 運営委員会	授業料納入日	仕事始め 預かり保育⑤
7	火	推薦・学奨入試打合せ会議		3学期準備 預かり保育⑥
8	水	始業式 大掃除 学年別一斉指導 マイトリー基金抛金日 県校長会	始業式 頭髪服装指導 マイトリー基金抛金日	始業式 園内清掃(年長保護者)
9	木	校内書き初め大会		体育(全)文字と数(年中)
10	金	大掃除 入試会場作成	大掃除 入試会場作成	保育料納入日
11	土	推薦・学奨入学試験	推薦・学奨入学試験(本校)	
12	日			
13	月	成人の日		
14	火	学奨入学試験審査会 センター試験直前演習(~15日)	お役に立とう週間④	読み聞かせ(西山先生) 群私幼研究委員会
15	水	推薦入学試験審査会 日私中高連常任理事会 / 協会長・事務局長会議	ミニマナーアップ運動	新採研(後期Ⅱ) 英語(全)文字と数(年長)
16	木	大学入試センター試験出陣式	大学入試センター試験出陣式(本校)	体育(全)文字と数(年中)
17	金	鏡開き	鏡開き(本校)	「お誕生会」(12・1月生まれ)
18	土	大学入試センター試験 1・2年ベネッセ総合学力テスト	大学入試センター試験	
19	日	大学入試センター試験	大学入試センター試験	
20	月	LHR 大学入試センター試験自己採点 学年主任会 推薦・学奨入学試験合格発表日		リズム(全)線(年少)
21	火	食育の日 県私学振興大会		
22	水	中高協会定例会		お茶のお稽古⑥ 英語(全)文字と数(年長)
23	木	一般ステップアップ入試願書受付日 県高P連次年度役員候補者推薦委員会		体育(全)文字と数(年中)
24	金	制服アフターサービス 国公立大学出願検討会	アフターサービス 英検③4~5級	
25	土	法然上人忌 職員出勤日 第1回入学手続 英検③一次	中学校入学説明会① 英語検定③2~3級	
26	日	(ペン字検定③)		
27	月	朝礼 教科主任会		リズム(全)線(年少)
28	火	3年卒業試験 1・2年中間試験(~30日)	中間試験(~30日)	ボール投げ教室(年長)読み聞かせ(西山先生)
29	水			英語(全)文字と数(年長)
30	木	一般・ステップアップ入試打合せ会議		体育(全)文字と数(年中)
31	金	大掃除 入試会場作成 出欠統計提出	漢検③	

※ 6日は高等学校・一貫校・幼稚園の安全点検日です。



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく